自然豊かな山々を優雅にクルーズ

特急 ゆふいんの森

車内に一歩足を踏み入れると、そこは森の中のホテルのようなリゾート感あふれる癒しの空間。「ゆふいんの森」は、床を高くしたハイデッカー仕様の車両なので、ビューポイントが高く、よりダイナミックな景色が楽しめる。圧巻は床から天井まで開いた窓からの極上の眺めだ。グリーンを基調にしたシックなインテリアに包まれて緑薫る高原の旅を満喫しよう。

ゆふいんの森 I世

由布院駅舎 30周年

1990年(平成２年)大分県出身の建築家・磯崎新氏の設計により建てられた、礼拝堂をイメージさせる黒で統一されたシックな木造駅舎。2020年12月に竣工30周年を迎える。

1番ホームには源泉かけ流しの足湯があり、窓口で足湯券(大人200円、こども100円タオル付)を買うと利用できる。

ゆふいんの森 III世

高原のリゾートエクスプレス「ゆふいんの森」

1989年(平成元年)3月、「ゆふいんの森」はJR九州の、車両のデザインと地域のストーリーを大切にした「D&S列車(観光列車)」のさきがけとして誕生。由布院のみなさまと意見を重ね、緑ゆたかな滞在型温泉保養都市という由布院のみなさまの理想像を大切にし、これまでにない「高原のリゾートエクスプレス」をコンセプトとしたハード・ソフト両面で画期的な列車をつくりあげた。